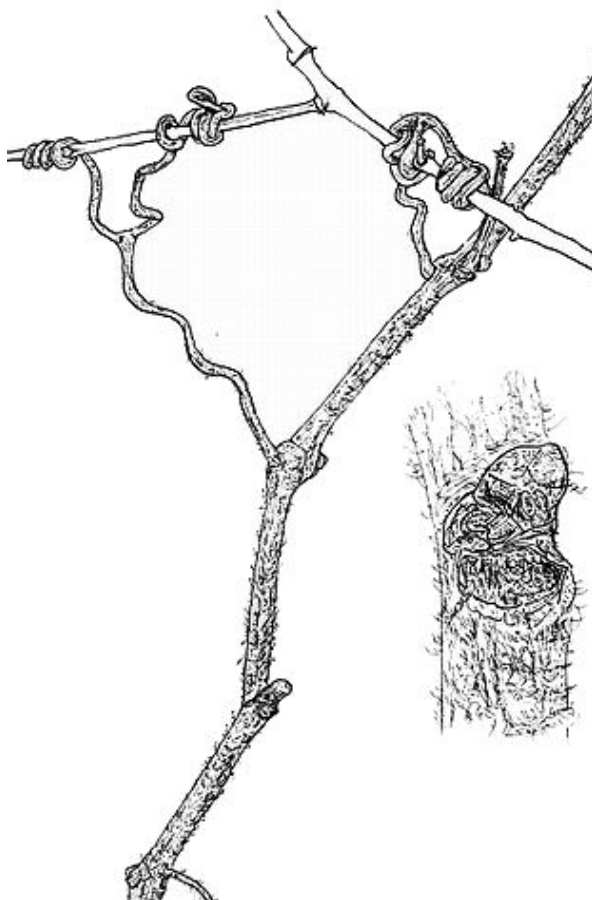


# 稲城野草散策の会

野草スケッチ エビツル（ブドウ科）



1996/06/17 稲城市矢野口 絵と文 Ta

エビツルはブドウの仲間だ。

秋になると、ミニチュアサイズのブドウが実る。

十分熟した実を口にすると、芳醇な、ブドウそのものの味がする。

---

会報第38号 2008年2月17日発行 発行責任者 尼子 房夫

エビヅルは文字通りつる植物である。

つる植物は林の縁に生える。フェンスに絡まっていることもある。

日当たりが悪くては育たないため、林の中へは入り込めないのだ。

林の縁を覆うことによって、結果として風を和らげたり林の中が乾燥するのを防ぐ役割を果たしている。

こうした林縁の植物を総称して「マント群落」と呼ぶのだそうである。

林を切り開いて作ったスーパー林道などで、道路脇の樹木が枯れている光景をしばしば目にすることがある。

いきなりマントを脱がされたのでは、樹木も肺炎を起こす？というわけだ。

しかし自然とはよくしたもので、やがてつる植物が生えてきて回復していく。

熱帯のジャングルもマント群落であり、人が熱帯雨林を切り開いたり道をつけることによってできる、環境破壊の象徴みたいなものだ、という話を聞いたことがある。

植物仲間はエビヅルを生食かせいぜい果実酒として利用する程度であるが、きのこ狩りに行った際、エビヅルを使ったすばらしい料理をご馳走になったことがある。

場所は東京都檜原村。村の青年団（みんな「元」青年だが(^\_^)）が管理しているしゃれたコテージ「フジの森」がある。

ここで、村おこしに協賛する都会メンバーとパソコン通信仲間とが集まって、毎年きのこ狩りを行っている。

フジの森にはキッチンが備わっているが、調理は自分たちで行う。

きのこ狩りのときのシェフは、わが畏友、ハチスカさんだ。

ハチスカさんは、パソコン通信仲間であるとともに、「フィールドマップシリーズ・日本のきのこ（インターリミテッドロジック社）」の著者でもある。

きのこの鑑定を行うだけでなく、アウトドアの達人、かつ料理の鉄人なのだ。

オニノヤガラで登場した「きのこ屋さん」とは、じつはハチスカさんのことであった。

2000年10月末に行った「きのこ合宿」でのメニューを一部紹介しよう。

- ・生のアカモミタケと合鴨のサラダ
- ・ワカサギのマスタードマリネ、タルタル風

- ・キハツダケの小さなコロック
- ・鶏の内臓のラビオリ、いろいろきのこのソース
- ・ナラタケのスープ
- ・牛すね肉のエビツルソース煮込み ビルギッタさん風

いわゆるきのこ料理とは、かなり趣が違っていることがおわかりいただけると思う。どれも採りたてのきのこの味を最大限に引き出すように工夫されたオリジナル料理だ。

収穫されたきのこを見てから、どう調理するか、味付けをどうするか決めるのだという。

仕上がった料理は綺麗に盛り付けてあり、レストラン顔負けである。

これを、ハチスカさんともう一名で20人分作った。

ある年には40人分を作ったことがある。すごいパワーだ。

「牛すね肉（骨つき）のエビツルソース煮込み」に、ハチスカさんが大量に集めてきたエビツルの実が使われた。

すね肉って固いもの、という先入観があったのだが、じつにやわらかく、コクのある逸品だった。

エビツルの実がスエーデン料理（ビルギッタさんは、昨年ここを訪れたスエーデン人）に利用できるとは思ってもよらなかった。

これらの料理をいただきながらグラスを傾け、歓談したり歌ったりする。

やがて蕎麦打ちがはじまり、宴は夜が更けても延々と続いたのであった。

\* \* \* \* \*

## 〔行事記録〕 1月19日 七草摘み

ここ数年七草摘みの日は、きまって雪でしたが、今年は好天で、七草摘みにはよい一日でした。

黒川の田んぼで、ナスナ、コオニタビラコ、ハコベ、ハハコグサ、セリを午前中で十分採集することが出来ました。午後は、黒川で樹木を中心の観察をしました。奥の方に行くと、昔歩いた道の周辺が市民農場に変わっていました。また農場造成工事も進められていてまだまだ変わって行きそうです。だんだん自然が減って行くようで残念です。(FAM)

## 〔行事記録〕 1月20日 七草粥

今年は、準備に使う部屋を午後から別なグループが使うということで、都合のつく方に1時間早く来てもらい、準備にかかっていたきました。おかげさまで手際よく段取り出来、恒例の七草粥、お汁粉を美味しく頂きました。準備して下さいありがとうございました。

そのあとで、2008年度の行事予定を検討して、年18回の行事を決定しました。(FAM)

## 〔フローオフ〕 2月9日 長沼公園下見

雪という予報でしたが、午後少し降ってきただけで、しっかりと下見が出来ました。ただ途中雪が残っているところもあり、歩きには要注意です。

私には初めての場所でしたが、樹木の種類も比較的多く、歩いて行くと同じ木が繰り返し現れるので、復習確認出来て、冬の樹木の観察には良いコースだと思います。

シデの仲間、ガマズミの仲間、アオハダ、マルバアオダモ、リョウブ、ネジキ、カマツカ、ナツハゼなどなど。

霧降の道を下り始めたところで、今までに見たこともないほど太い幹のツルグミを見つけました。

今回のコースは。西尾根の道を野猿の尾根道まで上がり、休憩舎で昼食。一旦平山口までを往復して、霧降の道を下りました。少し時間が早かったので、長泉寺尾根を回って長沼駅に戻りました。3時半に解散。

なお、長沼駅の周りにはコンビニがありません。お弁当は前もって準備下さい。

△そのほか特に目に付いたもの

(1) イヌツゲの木に沢山の実が付いていると思ったら、虫食いでした。名前は？  
「イヌツゲ+メ+タマ+フシ」。当たりです。

(2) ハンノキ、ヤマハンノキ

野猿の尾根にある休憩舎の近くにハンノキがあります。通常は、水辺にあるハンノキが山の上であり、ヤマハンノキがふもとに近い方にあるというのも面白いですね。

(3) ナツハゼ

このコースにはナツハゼが沢山あります。ナツハゼのジャムは本当に美味しいものです。実が熟した時期にどなたかナツハゼジャムを作って味見させて下さい。  
(ベンスリーさん、宜しく)

## 〔行事予定〕 2008/2/17 (日) 長沼公園

項目	説明
集合	am10時、京王線長沼駅・改札口付近 ※会旗目標 長沼駅の改札口は一個所だけです
交通	京王線京王八王子行きまたは高尾山口行きをご利用下さい 長沼駅には、急行、準特急、特急は停まりません。快速、各駅停車をご利用下さい 急行、準特急、特急をご利用のときは、高幡不動でお乗り換え下さい
行く先 (解散場所)	長沼公園内観察、pm3時半頃解散予定
見所 その他	冬芽の観察
地図	
コース	長沼駅→長沼公園入り口→西尾根の道→頂上園地 (昼食・トイレ) →平山口→霧降の道→長泉寺尾根→長沼駅 (解散：pm3時半頃)

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円



〔行事予定〕 2008/3/30 (日) 片倉城址公園

項目	説明
集合	am10時、JR横浜線片倉駅北口 改札口付近 ※会旗目標 片倉駅の改札口は南口もあります。ご注意ください 京王高尾線京王片倉駅から国道16号線を歩いて公園に来ることが 出来ますが、少し距離があります(500m位)
交通	JR横浜線をご利用下さい
行く先 (解散場所)	八王子市片倉城址公園、JR片倉駅pm3時頃解散予定
見所 その他	公園内にはカタクリ、アズマイチゲなど、早春の妖精たちが咲き誇 っており、雑木林ではアマナも期待できます
地図	
コース	<p>JR片倉駅前～片倉城址公園～(公園内散策)～広場(昼食)～裏 手の雑木林散策～城址公園～JR片倉駅</p> <p>その後、オプションで八王子みなみ野の雑木林を歩くかもしれませ ん</p> <p>コースは天候その他により変更する場合があります ご用の方は途中で抜けても構いません</p>

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円